

(1) 基本目標及びそれに基づく重点項目

基本目標 こどもの笑顔をつくるまち
項目1 こどものすこやかな成長のための支援
項目2 こどもの学びに対する支援
項目3 こども・若者がいきいきと輝ける環境づくり
項目4 こども・若者を社会全体で支えるための環境づくり
基本目標 住みよく安心できるまち
項目1 心身ともに健康で暮らせる環境づくり
項目2 共生社会の実現
項目3 環境と調和した快適な都市基盤の形成
項目4 安全安心の地域づくり
基本目標 活力ある魅力的なまち
項目1 農水産業の持続的発展
項目2 地域経済をけん引する産業の振興
項目3 地域資源を活用した市の魅力発信
項目4 移住・定住の促進
基本目標 多様な人々の流れをつくるまち
項目1 地域の個性を活かした交流促進
項目2 愛着や誇りをもてるまちづくり
項目3 関係人口の創出

総合戦略P14～24参考

(2) 目標進捗率の算出方法

進捗度を%で算出(実績 / 目標値 × 100)。小数点以下は第1位まで算出し、第2位以下は切り捨て。

例:実績値37人で目標値が80人だと $37 \div 80 \times 100 = 46.25\%$ となるが、小数点第2位以下は切り捨てで46.2%

(3) 指標分類の「その他(個別計画等)」とは

基本目標に関連する各部署の個別計画等で重要な指標等

(4) 現状評価の判定基準 ※宇城市総合政策審議会で判定

評価は「効果」「効率」「持続性」「公平性」の観点で評価を行い、総合判定に反映する。

S:対策や事業が施され、目標を上回る効果が出ており、目標が達成されている(達成可能である)。

A:達成率が80%以上で、かつ課題等の整理がなされ、対策が講じられている。

B:基本目標の達成に向けて、改善や工夫が必要と思われる。

C:外的要因・財政状況の変化等により、抜本的見直しが必要。

(5) 審議会で判定する際のポイント

- ・目標値の設定根拠は明確か(根拠資料の提示)
- ・実績データは信頼性・更新頻度が確保されているか(集計方法、年次整合性)
- ・達成が難しい指標の場合代替案の提示があるか(指標修正、目標の再設定、事業停止の判断基準)
- ・部署横断の依存関係(複数部署での連携が必要な指標)がある場合の管理体制は構築されているか

No	基本目標 (4つのうち4つ(より 基本目標から選択))	重点項目 (各部署で選択)	指標分 類	指標名	基準値	基準 年	目標値 (R10)	方向性	根拠資料	R7実 績	R8実 績	R9実 績	R10 実績	目標進 捗率	KPI達成のための評 価年度の取組内容	目標進捗率に影響し た主な要因	今後の取組(必要に応じ KPIの見直し等も含む)
1	こどもの笑顔を つくるまち		KPI	保育所利用待機児童数(年度末時点)	23人	R5	0人	▽	こども家庭庁「保育所等利 用待機児童数調査要領」 に基づき算出								
2	こどもの笑顔を つくるまち		KPI	放課後児童クラブの待機児童数 (年度末時点)	11人	R5	0人	▽	実施状況調査								
3	こどもの笑顔を つくるまち		KPI	妊娠11週以内での妊娠届率	96.3%	R5	98%	↗	地域保健・健康増進事業 報告 母子保健(妊娠の届 出)								
4	こどもの笑顔を つくるまち		KPI	乳幼児健康診査の受診率	97.9%	R5	98%	↗	地域保健・健康増進事業 報告 母子保健(健康診査)								
5	こどもの笑顔を つくるまち		KPI	熊本県学力・学習状況調査における正答率(全国平均を上回った教科数 (対象:小学3~6年生および中学1~2年生)	8教科／14教科	R5	14教科／14教科	↗	熊本県学力・学習状況調 査								
6	こどもの笑顔を つくるまち		KPI	体力・運動能力検査で県平均を上回った項目数 (対象:小学5年生および中学2年生)	15項目／32項目	R5	32項目／32項目	↗	体力・運動能力検査								
7	こどもの笑顔を つくるまち		KPI	婚姻件数(暦年)	796組／4年 (R5:177組)	R5		↗	厚生労働省「人口動態統 計」								
8	こどもの笑顔を つくるまち		KPI	地域学校協働活動に参加した地域 住民の年間延べ人数	315人／年	R5	3,000人／年	↗	生涯学習課資料								
9	住みよく安心で きるまち	その他 (個別計 画等)															
10	住みよく安心で きるまち		KPI	要介護認定率	17%	R5	17%	→	介護保険事業状況報告								
11	住みよく安心で きるまち		KPI	特定健診受診率	42%	R5	57%	↗	特定健診法定報告								
12	住みよく安心で きるまち		KPI	特定保健指導受診率	69.9%	R5	75%	↗	特定健診法定報告								
13	住みよく安心で きるまち		KPI	運動習慣がない人の割合(40~ 74歳)	男性:59.6% 女性:66.3%	R5	男性、女性 ともに50%	↘	KDB 40~74歳 国保特 定健診質問票								
14	住みよく安心で きるまち		KPI	乗り換え拠点(松橋駅、小川駅、三 角駅)の1日当たり利用者数	松橋駅:1,633人／日 小川駅:1,038人／日 三角駅:314人／日	R5	松橋駅:1,700人／日 小川駅:1,000人／日 三角駅:300人／日	→	九州旅客鉄道株式会社 「駅別乗車人員」								
15	住みよく安心で きるまち		KPI	老朽危険空き家(Dランク)の解体 数(累計)	17棟／154棟	R5	57棟／154棟	↗	老朽危険空き家解体補助 実績件数								
16	住みよく安心で きるまち		KPI	刑法犯認知件数(暦年)	146件／年	R5	前年より減少	↘	熊本県警察「市町村別主 な犯罪の認知件数」								
17	住みよく安心で きるまち		KPI	交通事故件数(暦年)	97件／年	R5	前年より減少	↘	熊本県警察「交通事故統 計(年間)」								
18	住みよく安心で きるまち	その他 (個別計 画等)															
19	活力ある魅力的 なまち		KPI	農業生産額	2,454千万円／年	R5	2,532千万円／年 (2027(R9))	↗	農林水産省「市町村別農 業生産額(推計)」								
20	活力ある魅力的 なまち		KPI	企業投資額	17,260百万円／4年 (R5:7,385百万円)	R5	20,000百万円／4年 (年平均5,000百万円)	↗	立地協定投資金額								
21	活力ある魅力的 なまち		KPI	製造業における粗付加価値額(暦 年)	50,740百万円／年 (2022(R4))	R5	55,000百万円／年	↗	総務省・経済産業省「経済 センサス・活動調査」?								
22	活力ある魅力的 なまち		KPI	ふるさと納税受入額	5.6億円／年	R5	10億円／年	↗	市長政策課資料								
23	活力ある魅力的 なまち		KPI	空き家・空き地バンク年間成約件 数	38件／年	R5	50件／年	↗	空き家・空き地バンク媒介 等報告書								
24	活力ある魅力的 なまち		KPI	移住施策を活用した年間移住者数	29人／年	R5	50人／年	↗	移住支援金・空き家改修 補助、子育て世帯住宅購 入補助等の実績数								
25	活力ある魅力的 なまち	その他 (個別計 画等)															
26	活力ある魅力的 なまち		KPI	観光入込客数	1,667千人／年	R5	1,849千人／年	↗	商工観光課資料								
27	活力ある魅力的 なまち		KPI	三角西港訪來者数	276千人／年	R5	314千人／年	↗	観光入込客統計調査								
28	多様な人々の流 れをつくるまち	その他 (個別計 画等)															

基本目標 こどもの笑顔をつくるまち						担当部署名						
数値目標① 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある児童生徒の割合						数値目標② 年少人口(0~14歳)割合(年度末時点)の維持						
重点項目①						重点項目②						
No	指標分類	指標名	基準値	基準年	目標値(R10)	方向性	根拠資料	R7実績	R8実績	R9実績	R10実績	目標進捗率
例	KPI	保育所利用待機児童数(年度末時点)	23人	R5	0人	↓	こども家庭庁「保育所等利用待機児童数調査要領」に基づき算出	20人(仮)				20%

前回評価時の今後の取組

目標進捗の推移(グラフ)

KPI達成のための各年度の取組内容

R7	
R8	
R9	
R10	

ここは、上記の目標値と、毎年の実績数値のグラフを反映予定。

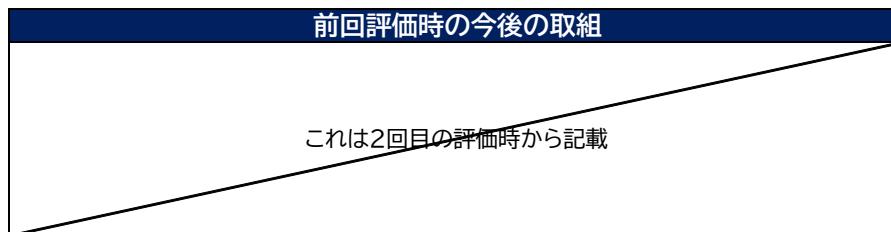
R7 R8 R9 R10

今後の取組(必要に応じKPIの見直し等も含む)

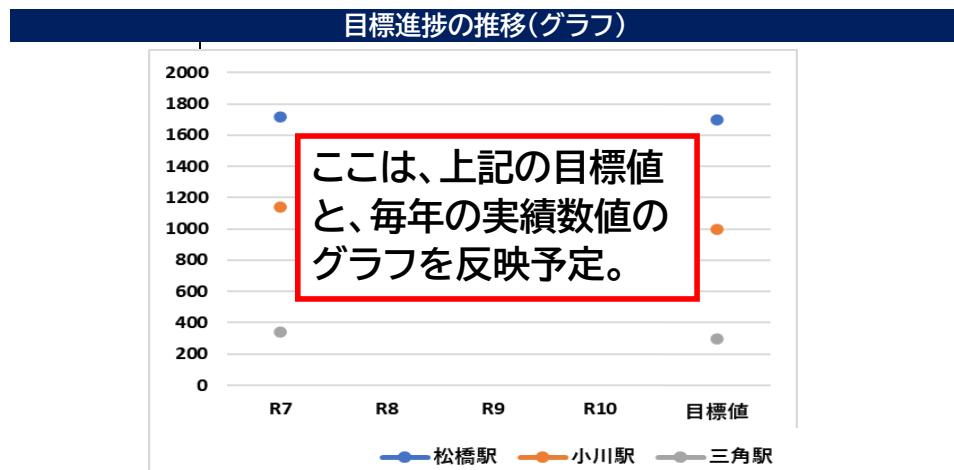
目標進捗率に影響した主な要因

審議会での現状評価	審議会からの評価に対する意見詳細(理由等)

基本目標 住みよく安心できるまち							担当部署名	企画課企画統計係							
数値目標 宇城市に住み続けたいと思う市民の割合															
重点項目 環境と調和した快適な都市基盤の形成															
No	指標分類	指標名	基準値	基準年	目標値(R10)	方向性	根拠資料	R7実績	R8実績	R9実績	R10実績	目標進捗率			
13	KPI	乗り換え拠点(松橋駅、小川駅、三角駅)の1日当たり利用者数	松橋駅:1,633人／日 小川駅:1,038人／日 三角駅:314人／日	R5	松橋駅:1,700人／日 小川駅:1,000人／日 三角駅:300人／日	→	九州旅客鉄道株式会社「駅別乗車人員」	R6実績値 (R7出てないため) 松橋駅:1,716人／日 小川駅:1,141人／日 三角駅:338人／日				松橋駅:100.9% 小川駅:114.1% 三角駅:112.6%			



KPI達成のための各年度の取組内容	
R7	松橋駅については、松橋産交の移転により、乗降場所が松橋駅前に変更となり、鉄道とバス路線を結節した。また、松橋駅、小川駅、三角駅はともに乗合タクシー導入地区の乗降場所としている。
R8	
R9	
R10	



今後の取組(必要に応じKPIの見直し等も含む)	
乗合タクシーのダイヤの見直し、小川駅利用者への利用促進策の検討。KPIの目標値の見直し。回復前に戻す松橋駅:1,700人／日、小川駅:1,000人／日、三角駅:300人／日	

目標進捗率に影響した主な要因	
松橋産交の移転による松橋駅前への乗降場所の変更に伴う、鉄道とバス路線の結節。また令和2年度から毎年度利用者数は増加しており、コロナ禍の減少から回復傾向が続いているが、完全にはコロナ禍前には回復していないので、しばらく利用者微増は続くと予想される。	

審議会での現状評価	審議会からの評価に対する意見詳細(理由等)
A	現時点で目標値を達成している。KPIの方向性は維持だが、目標値を少し上げる等見直してもいいのではないか。

No	基本目標 (4つのまちづくり 基本目標から選択)	指標分 類	指標名	基準値	基準 年	目標値 (R10)	方向性	根拠資料	R7実 績	R8実 績	R9実 績	R10 実績	目標進 捗率
1	子どもの笑顔を つくるまち	数値目 標	普段の生活の中で、幸せな気 持ちになることがよくある児 童生徒の割合	小学生:48.1% 中学生:39.5%	R5	小中学生ともに55%	↗	全国学力学習状況調査					
2	子どもの笑顔を つくるまち	数値目 標	年少人口(0~14歳)割合(年 度末時点)	12.1%	R5	12.1%	→	市民課「年齢別人口」から算 出					
3	住みよく安心で きるまち	数値目 標	宇城市に住み続けたいと思う 市民の割合	87.2%	R5	90%	↗	市企画課調べ (市民アンケート調査より)					
4	活力ある魅力的 なまち	数値目 標	社会増減数	-60人/年	R5	±0人/年	↗	市民課「住民異動一覧」から 算出					
5	活力ある魅力的 なまち	数値目 標	総所得金額等の数	65,613百万円/年	R5	67,500百万円/年	↗	総務省「市町村税課税状況 等の調(第11表)」					
6	多様な人々の流 れをつくるまち	数値目 標	宇城市に愛着を持っている市 民の割合	72%	R5	80%	↗	市企画課調べ (市民アンケート調査より)					

基本目標 こどもの笑顔をつくるまち

No	指標(数値目標)	基準値	基準年	目標値 (R10)	方向性	根拠資料	実績値				目標進捗率
							R7	R8	R9	R10	
1	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある児童生徒の割合	小学生:48.1% 中学生:39.5%	R5	小中学生ともに55%	↗	全国学力学習状況調査	小学生:●% 中学生:●%				小学生:●% 中学生:●%

前回評価時の今後の取組

目標進捗状況(グラフ)

目標進捗率に影響した各年度の取組内容の分析
(進捗の要因等)

ここは、上記の目標値と、
毎年の実績数値のグラフ
を反映予定。

R7	
R8	
R9	
R10	

R7 R8 R9 R10

現状分析を踏まえた今後の取組

審議会 現状評価	評価の詳細(理由等)

基本目標 住みよく安心できるまち

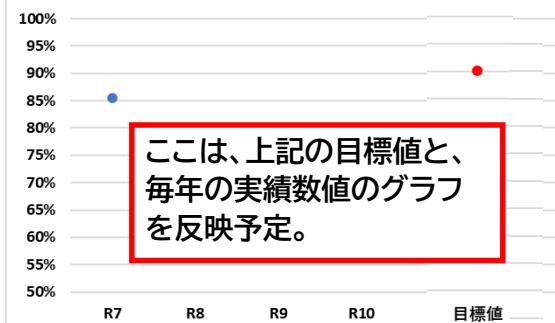
No	指標(数値目標)	基準値	基準年	目標値 (R10)	方向性	根拠資料	実績値				目標進捗率
							R7	R8	R9	R10	
1	宇城市に住み続けたいと思う市民の割合	87.2%	R5	90%	↗	市企画課調べ (市民アンケート調査より)	85.5%	仮測定			95%

前回評価時の今後の取組

これは2回目の評価時から記載

目標進捗状況(グラフ)

宇城市に住み続けたいと思う市民の割合

目標進捗率に影響した各年度の取組内容の分析
(進捗の要因等)

R7	基準値よりR7実績が下がっている。市民アンケート(R7仮測定参考)の住みにくさの理由の回答を見ると、「公共交通の利便性」「買い物」「働く環境整備」が上位で挙げられていた。これらの施策の進捗が影響していると考えられる。
R8	
R9	
R10	

現状分析を踏まえた今後の取組

「公共交通の利便性」「買い物」「働く環境整備」の対策

審議会 現状評価	評価の詳細(理由等)